
GODEATER - ゴッドイーター - ~ 神崎タクミの戦い ~ 没ネタ & 設定詳細集
神崎タクミ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

GODEATER -ゴッドイーター- ～神崎タクミの戦い

～没ネタ&設定詳細集

【ZIPコード】

N3019Y

【作者名】

神崎タクミ

【あらすじ】

これは俺の戦い？

ここは没ネタと設定詳細ばかりなので、設定詳細だけを見るなどを
お勧めします。

没ネタ 1 『武器編』（前書き）

記念すべき最初の没ネタ投稿！

主人公の異常なまでの無双さがあなたの心を揺さ振る！

タクミ「ねーよ」

作者「いいじゃねーか！このくらい格好つけたほうがいいんだぜ」

タクミ「帰れ」

作者「ここでも没ネタが出ますけど、主人公はドライでドウなひどい人でした」

タクミ「それでいいじゃねーか、バーカ」

作者「あと、総合的なDQNです」

タクミ「ひどいじゃねーか、ボケ！」

作者「レッドカード！本編のタクミ来い！！」

タクミ「ん？なんだ？」

作者「こんにちわー」

タクミ「前書きと後書きの俺つてあいつに感化されてる」とを忘れない方がいいぜ

作者「あれが紅ということは他言無用だ」

実は紅は元・主人公だった

没ネタ 1 『武器編』

没ネタ

・武器が多彩

主人公はアラガミの素材をそのまま使って戦う
ソーマのスペイラルフェイトでヴァジュラ系のアラガミにナイフ一本で戦おうとした雄姿からのネタ、いつか実施するかもしれない

例

タクミ「くつ、アルテミスーーー！」

神機^{アルテミス}はグボロの攻撃で俺の手から離れる

そこにグボロの巨体が迫る！

俺は懐から荒切牙を取り出して突進してくるグボロの巨体を避けて
背中に突き刺す！

タクミ「死ねえ！！！」

コアを狙つた一撃だ、荒切牙はグボロの結合を断ちコアを碎いた

コアが碎けたためグボロの体は崩壊していく

俺は神機^{アルテミス}を拾い上げてアナグラへ帰還した

・二刀流

ボルグ・カムランの針を剣状に形を変えて二刀流にしてみた、理由
は超力ツコトイイから、虎牙破斬とかやってみたいから

例

タクミ「おっしゃー！新兵器『ボルグソード』の登場だ！！」

名前の割にスタイリッシュな刀身と切れ味の凄さ リックさんの技術の集大成、しかし

リック「それで戦うの？ 大丈夫なの？ 神機のこと考えてそんなもの使ってくれるのはうれしいけど、キミのことも心配してんのだからね」

これはテスト的なものだ

現在の刀身は神機を通さなければオラクル細胞の奪取などができるのでこういった形で使うことができる全然想像されていなかつた

榊はこう言った

榊「実際に興味深いねえ、これが実用されればゴッドイーターでなくともアラガミと戦うことができるってわけだね」

つまり、これの実用化で人類は新たな一步を踏み出すことになると いう大きな実験である、後に外郭居住区に一家に一本ぐらいの宝刀になるのはフィクションです

まずはボルグソードだけでオウガテイルを倒すのがこの任務だ

タクミ「喰らえ！これが俺たちの新兵器だ！！」

オウガテイルに一閃！

脚を切り落として次にコアを狙う

見事にコアは砕けてオウガテイルは霧散した

タクミ「勝つた、勝つたーー！」

俺はボルグソードを一本に増やしてもらつて一刀流を実現させた
結果はボルグ・カムラン（墮天も含む）以外は倒せた、という結果
になつた

タクミ「ウロヴォロスのときは大変でした、盾がないので一刀で触手を断ち切つたりしたのはとてもいい思い出でした」

タクミ「ヴァジュラとピターヒマターの親子トリオは楽勝でした、でも電気対策は絶対要ります」

盾と電気対策が実用されるのはフィクションの中の未来である

没ネタ 1 『武器編』（後書き）

武器編が完結しました！

無双に限りはないです

今日はカットされた無双ですがすごいです

次回は設定の方についてみます

それでは

没ネタ 2 『設定編』（前書き）

今回は没ネタの設定編です

主人公の設定は色々あります

そういうのも含めて設定編ですからね

それでは、設定の方に

主人公の設定だけで埋まりました、設定編はたくさんありますよ

没ネタ 2 『設定編』

主人公の没ネタ

- ・紅以外にも漆黒は実は元・主人公だったりすること
- ・年齢がもとは19歳だったが他の方の作品でその年代が多いので15歳になった（19歳の心境とか考えづらいこともあります）
- ・細かい設定は後付けされている
- ・使用する神機の装備は
アサルト・ショート・バックラー
- ・作者はアサルトが嫌いだつたりする。 理由はブلاストの方が好きだから。 ではなく、放射系とレーザー系ぐらいしか使わないタイプだから（威力がはつきりしないこともあるから）
- ショートはお気に入りだが、必殺技がないのが少々気になっている（作者は敵によって刀身を換えて戦っている、シユウはショートで戦うのはやはり師匠だから）
- バックラーは好きだから（タワーが一番と言えば一番な作者、グボロの盾は無敵と最強の象徴）
- ・主人公はリンドウとエリックの遺志を継いで戦つていいくつもりらしい
- つまり、華麗に生き延びるというわけです

没ネタではアラガミとは戦いたくないという気持ちがあつたがそれを乗り越えて強くなつていく、というシナリオもあつたがこの強さと邪氣眼システムでは紅に任せっきりの貧弱野郎になる可能性があつたので没ネタとなつた

- ・主人公が狂戦士
バーサーカー
- 紅ですね、わかります

- ・主人公がゴッドイーターじゃない

これはちょっときついため没ネタ

- ・主人公が天才科学者からのゴッドイーターに転職

シナリオ

主人公、神崎タクミは15歳フェンリル本部で新型神機の研究・開発を全般的に任せられている

しかし、何故かアラガミに研究フロアが襲われる

これは他の研究員が行つた自爆テロだった

偏食因子のやつですね、わかります

ヴァジユラが目の前に迫つたとき、俺は開発途中の神機を掴んだ
そんなわけでその場を切り抜けて、ゴッドイーターと神機の研究をしていく感じだつたりする

- ・他の神機使い

絶対に出ません

絶対に出ませんよ

絶対に出たりしません！

大事なことだから絶対に他の神機使いは出ないということを二回言いましたよ

あ、これじゃあ四回か

なんで絶対でないのかというと、ネーミングセンス、という問題です

- ・フラグ乱立、しかし回収はしない

死亡フラグはへし折つて

恋愛フラグは回収しない、という行為を普通に行う

つまり鈍感最強主人公です

でもそれでは先代と示しがつかないので現在のようなヒュータイプ主人公を採用しました

その他の設定は次回です

没ネタ 2 『設定編』（後書き）

没ネタ & 設定集は約1000文字あたりを目標としています
ちなみに今回は962字でした

最近は他の方の「ゴッヂーダイター」小説を読んでいます

評価の点数が高い、と思った方は私の作品と読み比べてくれると嬉しいです

感想も読んだあとにするんですが、最初の感想だと緊張しますね

設定 1 『人物編』（前書き）

作者「こここの設定集は人物、で・す・が！」

タクミ「俺オソリーだぜ」

作者「お前は謎が多くすぎる、だから俺が暴いてやる」
タクミ「ゲームとストーリーじゃ空気になる秘密も公開です」（嘘です）

作者「漆黒の素手の秘密もな」

あと愉快？な仲間達の設定もござります

設定 1 『人物編』

主人公『神崎タクミ』

作者のゴッドイーター・バーストのセカンドデータとして活躍中のキヤラクターであり、現在のゲームの戦績はファーストデータを軽く凌ぐ

最近の悩みは作者の『』更新とカットされるところの多さ

没ネタじゃ『禁忌を破る者』の主人公に色々絡む悪い人になってしまったこともある（禁忌を破る者編を作つてギース君と共闘させようとも思つたが絶対に無理、著作権＆ギース君は獲物を取られると怒るため）

妹の名前はユキ、ゲーム本編に名前の出てきただけの娘の名前を使うことで作者の想像力が少なくて安全設計となつた。優しい妹でありブラコン（兄はシスコンであることは隠すべきもあるまい）小説内でも出す予定である。現在は孤児院にいるらしい
その孤児院は“コウタの家”の近くにある、大体わかつたね

多重人格？ 邪氣眼？ な主人公、しかしそれらは仲間であり、自分である

だけど多種多様の品揃えでござります

銀が最初は男の娘であつたことは没ネタでありこれからが心配な子紅は元・主人公でありだいぶDQNである

巨大な捕食形態を出せることと尋常じゃない力が売りだが色々な仲間に負けている

黒の方が出演回数が多いとか黄金の方が力が優れています

プレックスを最近持っている

ロリコンであることも話の中で発覚した

蒼は皆の相談役。というかクールで仲間より少しお兄ちゃんなだけです

狙い撃つけど乱れ撃てる**狙撃者**（力で捻じ伏せるのは^{スナイパー}「愛嬌でお願いします」）

熱しやすく冷めやすいのをモットーにしている、うなんだけど仲間には優しかったりする人

戦闘だとよく笑う、没ネタがない人でそれはそれで悲しい人

黄金は力的に紅に勝つていて、蒼とは違い力で敵に命中させる派よく言って皆の代わりに戦おうとする偉い人、悪く言うと**戦闘狂**コアバーストが出来ないことがコンプレックスになってロリコンになつて帰ってきた

ロリコン繋がりで紅と仲良くなれた、よかつたね、紅＆黄金 by

作者

漆黒はDQNな性格で登場した、ヒバリちゃんとサクヤさんに失礼な行動をしたので作者に修正された人

結果として力を上昇させられさらにDQNは卒業したしかしカノンに対して一番好意を抱いているのも彼だそして手が早い（その 時短のせいです）

彼の力は紅よりは弱いが、強力な編食場によりアラガミのオラクル結合だけを狂わせて素手でもアラガミを倒すことができる

他の作者の方も編食場を組み込んでいると結構説得力が出るんですけどいう考え方があるんだなっていう感じに見ていただけだと嬉しいです

没ネタじゃアラガミを操ることもできるんで・す・が！ それはア

－ サソールに譲ります

アラガミ化すればアラガミを操るなんて楽勝ですよ

漆黒「エネミー・コントロール！！」

実は黒も編食場を漆黒に少しあげるが出していて、コンゴウの面をぶつ壊すことに成功してしまったこともある

漆黒「俺の立場はどうなる、作者」

大丈夫、キミには「アバーストがある
コアバーストは現在、漆黒と紫と銀！？　だけの専売特許である

漆黒「紫は酒飲まなきや発動しないし、コアバーストは要らないら
しいけど、新入りがコアバーストは正直きついぜ」

紫は飲酒をしなければ登場しない特異体质である
しかも紫だけが独自の精神をもつており記憶も彼だけのものだつた
りすることもある

彼の悩みはもちろん出番の少なさと一度と出れない可能性もあること
未成年の飲酒はダメ。ゼッタイ。

他にも圧倒的すぎる戦闘能力と適合率が出演の度高くなること（一
〇〇%はもうアラガミさん）

最終的にはアラガミ化をして終わる予定です

銀は新入り、可愛い設定

ほぼ男の娘な俺

イケメンだがドウなバカばっかりの仲間達の中でもともな子

おとなしくて人と話すのが苦手だけれどがんばってる子

上記の通りにコアバーストができる強い子

戦闘中も敵に憐れみをかけることができる子（強さと可憐さは比例させるのがモットー）

他の仲間達と違つて顔つきも少々違う様子（初めて見ると男の子か女の子かわからないぐらい）

家事全般が完璧にできる凄い子

蒼とは似ていて似てない子

これからも増えていく予定？

作者「これ以上は話が崩れるから増やしません」

設定 1 『人物編』（後書き）

今回は主人公の設定集でした

当分はこっちを投稿していかないと結構設定の謎が多いんですね
次回はどうなるのかはわかりませんが没ネタの方を投稿します

設定 2 『用語』（前書き）

作者「ついにきましたっ！！ 用語編！！！」
タクミ「いまさらかよ」
コウタ「俺オンリーの設定集はどうなったの？」
作者「企画書に無し」
コウタ「帰れ」
タクミ「結構酷いな、あんた」
作者「とにかく本編、じゃなくて設定の方、行こう」
コウタ「癖がでたね」
タクミ「それにしても」
作者・コウタ「何？」
タクミ「第十九話の後書き^{エンドイシング}、じゃあ次回予告だけだつたね」
作者「あれには理由がたくさんあるのだが、神崎君」
コウタ「なんで神崎君って言つの？」
作者「それにも理由があるのだが、コウタ君」
コウタ「ふ～ん」
タクミ「その理由がここにあるんだよね？」
作者「まあ、そうだね」
コウタ「それじゃあ、本編 じゃなくて、やつぱり癖つてやる
ね」
タクミ「俺はしぐらないぜ」
作者・コウタ「じやあやつてみろよーーー！」

タクミ「それでは、次回」
作者「バ～力」
コウタ「タクミが一番酷いな」
タクミ「だつていつも次回予告ばっかりじゃん」
作者「本編行こう、とかあつたじゃないか」

「カノンが待っている、行くぞ」

「ウタ「これか でも他にもあつただろ~」

「能書きはいい、行くぞ」

作者「これってサクヤさんに言った言葉だね」
タクミ「能書きはいい、行くぞっ！！！」

「ウタ「設定行ってみよ~」

作者「設定行ってみよ~、で十分だな」

設定 2 『用語』

設定・用語集

- ・アーコロジー

それ単体で生産、消費が完結しているものを意味する

- ・アナグラ

ゴッドマイター、及びフェンリルで働く役員達の生活の拠点
アナグラという名前は極東の人間が付けた
穴倉、が漢字としては正しい気がする

榎博士の講義の中でアナグラは一種のアーコロジーであることが発覚
しかし、他支部から物資の供給（人員も例外ではない）を受けてい
るため完全なアーコロジーとは言えない

- ・アラガミ

漢字で表すと荒神

2050年代に突如出現し、現在も人類を脅かす謎の生命体

オラクル細胞（下記参照）により形成される1匹で数万、数十万の
群体だつたりする

しなやかであり、強固な細胞結合は通常兵器では対抗することが出
来なかつた

この絶対的な存在を極東に伝わる神々の名前に喩えて“アラガミ”と呼んだ

神機（下記参照）でのみアラガミの細胞結合を破壊する」ことが出来るしかし、アラガミは倒しても黒い霧となつて霧散し、新たに再集合して再びアラガミとなるため理論上アラガミは消えないこととなっている

- ・オラクル細胞

アラガミを形成する単細胞生物

単体で考え、捕食する細胞

こんな生物は出現する予想もたつていなかつたため、遺伝子改造が加えられて誕生したという考え方もある

色々な説があるがもつとも有り得ない例を挙げる

2030年代辺りに発生した戦争が原因

さまざまな技術があつたためこんな生物が戦争の影響で誕生したといつ説

この戦争は知ってるよね？

- ・オラクル技術

オラクル細胞を利用した技術の総称

オラクル細胞は様々なものをトレースするため、新たなエネルギーとして調整することによって人類はまだ滅びていない

オラクル技術は神機（下記参照）や新たな物質を作ることにも利用されている

アナグラを建設する際の資材にも偏食因子が混ざっているためとても硬い

（スパイラルフェイトでツバキさんがオウガテイルに鉄骨を刺したのもゴッドイーターの腕力と鉄骨の硬さにより出来た技）

・神機

オラクル技術（上記参照）より出来た人類の武器^牙

主人公のもつ新型神機が出来たため、今までの神機は旧型と呼ばれるようになった

（ピストル型の神機などは旧々型と呼ばれこととなつた、しかし、ピストル型は既に残つていない）

神機は適合していないと使えないという制限があるため他人に渡することは不可能とされる

無理に他人の神機を使おうとすれば神機に捕食されてしまう

リスクの多い神機だが、新型神機はなにか秘密があるらしい
(救世主の帰還の神機はファイクションです)

(ロゼットやエドガーの神機は第三世代の試験機との噂も)

- ・神機パーティ

- ・刀身

- ・ショートブレード

もつとも攻撃速度が速い刀身

とても軽い、スキルはスタミナが上がったりするなどする
コンボバーストに繋げるには少しコンボが多い

- ・必殺技

アドバンスドステップ・ジャンプによる無限に等しいコンボ
しかし、スキル“コンボマスター”には影響しない

- ・捕食

全ての刀身がもつ攻撃、正直あんまりしない

- ・ジャッジメント＝ブラッドペイン

圧倒的なオラクル細胞回収力により発動できる銃撃
リンクとの実地訓練の際に使用した光の柱がそうだ
コアバースト状態ならいくらでも発動できる(つまりショートは
)

- ・ロングブレード

作者のファーストデータで最強の刀身の座を誇る

墓石セットで戦友^{リア友}4人でハガンコンゴウ狩りの際に無双を誇った

- ・必殺技

- ・インパルスエッジ

これはリンクバーストLV3の状態では究極最終奥義に変化する

- の構え

- コンボの意味だ

- の構え

コンボの意味だが、移動攻撃手段としては最高のものである

- ・空中大回転斬り

巨大なアラガミなどに最大の攻撃力を誇る
サリエル種なども樂々狩り

無理です

クアドリガのミサイルポッドを結合崩壊させやすい

この攻撃はリンクドウが6年前のアラガミを楽に屠っていた

- ・バスターブレード

- 超火力の刀身

一番必殺技らしい必殺技を持っている

攻撃速度は遅い、しかし救済手段がたくさんある

- ・必殺技

- ・チャージクラッシュ

最強の攻撃、ボタンを使えば最強をさりに昇華させることができる

- ・G ガードキャンセル

アドバンスドガードによる通常攻撃のキャンセルだ

- ・ステップ

攻撃の中で最速を誇る神速の代名詞だ

ここで一言

「なんて火力とパワーだ！－！」

ここまで書いておきながら主人公の使う刀身はショートブレードである

設定 2 『用語』（後書き）

作者「刀身まで書いてたら約700文字もオーバーしました」

「ウタ「銃身と装甲は次回だね」

タクミ「設定 3 『用語2』だな」

作者「武装でいいんじゃないかな?」

「ウタ「そうかもね」

タクミ「でも、今回も用語じゃなくなるぞ」

作者「じゃあ用語でいいや」

タクミ「それでは次回、設定3 『用語2』」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3019y/>

GODEATER - ゴッドイーター - ~神崎タクミの戦い~没ネタ&設定詳細

2011年11月17日19時02分発行